

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町移動支援事業				開始年度	平成18年度	
基本目標	障がい者の自立と社会参加の促進				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	社会福係	記入者	吉田 竜人	評価者	井上敏郎
21年度決算	6,196	千円	22年度予算	6,000	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,020	千円	22年度人件費	1,012	千円	事業従事者数	0.14 人 0.14 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	屋外での移動が困難な障害者及び障害児に対して、外出時における移動支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を図ること
事業の内容	個別的な支援が必要な障害者等に対するマンツーマンによる支援(ガイドヘルパーが移動に随行する)

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 実利用者数	移動が困難な障害者等に周知し、一人でも多く事業を利用してもらう。
	2 実施事業者数	事業者に積極的な事業の展開を協力してもらい、障害者等の社会参加を促進する。
	3 延利用時間	実際にどれだけサービス利用があり、負担軽減が図られたか。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 行事参加回数	町、郡、県スポーツ大会等を周知・運営し、普段閉じこもりがちな障害者等の社会参加を促進する。
	2 支給決定者数	相談があったとき、また相談支援事業者から依頼があったときに支給決定し、事業を拡充。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	実利用者数	目標値	人	15	15	15
		実績値		15	15	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	実施事業者数	目標値	か所	3	4	5
		実績値		4	5	
		達成率	%	133.3%	125.0%	
	延利用時間	目標値	時間	3,600	3,600	3,600
		実績値		3,744	3,743	
		達成率	%	104.0%	104.0%	
活動指標	行事参加回数	目標値	回	3	3	3
		実績値		3	3	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	支給決定者数	目標値	人	15	15	15
		実績値		19	17	
		達成率	%	126.7%	113.3%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	地域生活支援事業は各市町村が地域の実情に応じて主体的に行う事業である。障がい者を対象にした事業であり、同様の事業を他課・他団体では行っていない。事業廃止については、障がい者の社会参加が阻害され、日常生活にも多大な影響があるためできない。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	障がい者の社会参加促進や日常生活上の手助けとして非常に有効である。利用者のニーズを把握するとともに、適正な利用を促進する必要がある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	事務に要する経費、時間については、削減はあまり期待できない。経費については、社会参加促進の観点から、過度の削減は困難である。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	実施者にはガイドヘルパーの資格が必要であるが、それが可能な団体等があれば、ボランティアやNPOに協力してもらうことは、十分に考えられる。

事務事業名	高鍋町移動支援事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	平成21年度中に懸案であった利用時間数や利用用件の見直しを行い、対象者への説明会を実施した。一部利用者にはしばらく混乱もあるが、経過的に対応する必要がある。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
				現状維持			○	
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎障害者支援の観点から必要な事業と考える。
	コスト	現状維持	